

原文

噫亦難矣、豈我與二三子之所_レ能及_二哉、然而古人不_レ云乎、寧學_二聖人_一而未_レ至、不_レ欲_下以_二一善_一成_レ名、則立誠之學、雖_二自知_二其難、而不_レ可_レ不_二敢庶幾_一焉者、學者立志之道然也

舍右鑿_レ池植_二白蓮_一、左有_二小樓_一、扁_二以_二張錦_一、余講誦之暇、時登而臨焉、則連山廻繞、草樹鬱葱、煙霞之相惹、漣漪之相映、

読み

噫亦難しいかな、豈我れ二三子と之れ能く及ぶ所か、然而して古人云わずや、寧くんぞ聖人學びて未だ至らず、一善を以て名を成すを欲せず、

則ち立誠之學、自から其の難しさを知ると雖も、而して敢えて庶幾せざるべからず、學ぶ者は立志の道は然なり。

舍は右に池を鑿ち白蓮を植え、左に小樓あり 扁は張錦を以てす、余講誦の暇に、時に登りて臨むかな、則ち連山廻繞、草樹鬱葱、煙霞之相惹、漣漪之相映、（加代子）

訳

ああ、やはり難しいことである。ことによると私と弟子達とよく及ぶことができるだろうか。しかしながら、昔の人も云っているではないか。聖人でも学んで未だいたらずと。一つのよいことをしたからと言って名を成すことを欲しないことだ。

則ち立誠の学問は、もとより其の難しいことを知っているが、それでも敢えて、それを願わなければならない。學ぶ者が志を立てて進む道はそういうものだ。

舍は右に池を鑿ち白蓮を植え、左に小樓があり 張錦と名づけられている。私は講誦の暇な時に、そこに登って辺りを眺めている。

山が連なり、周囲を取りまいている。草や樹が生い茂っている。霞や霧がたなびき、川はさざなみが光を受けて輝く、

語句

噫Ⅱああ

豈Ⅱ「豈く乎（邪）（哉）」は、「あ二く（なる） か」と読み、「ことによるとくなのだろうか」と訳す。推測の意を示す。「

然而Ⅱ「しかし しかウシテ」と読み、「それにもかかわらず」「そうなので」と訳す。逆接・順接の意を示す接続句。

矣Ⅱなり かな 乎Ⅱか や

哉Ⅱか、疑問 や、どうしてくであろうか かな、であるなあ

焉Ⅱ文末において訓読せずに、「くなのだ」「くにちがない」と訳す

寧Ⅱ③「いづクンゾ（いづクンゾ）」「なんゾ」と読み、「どうしてくであ

ろうか」「まさかゝではあるまい」と訳す。反語の意を示す。▽
庶幾〓シヨキ 希望する。こいねがわくは・こいねがうぜひ望むことは。
どうかゝであつてほしい。

扁〓うすくたいらな名札。門口にはりつける戸籍票

繞〓シヨウ ニヨウ まつわる めぐる

鬱〓

葱〓ねぎ 青い

煙霞〓エンカ もやと、かすみ。②もやにかすむ景色。③山や川のある
すぐれた景色。

漣漣〓レンイ さざなみ

漪漣〓イレシ さざなみ。また、波だつさま。

漣〓レン さざなみ。 漪〓イ 波 さざなみ

煙霞〓エンカ もやと、かすみ。②もやにかすむ景色。③山や川のある
すぐれた景色。

学習ノート「立誠舎記」 4 令和5年7月1日（担当）
原文

清徹秀麗、蒼茫

20 幽遠、宛乎如錦綺之張、所以命是樓也、而倏忽之頃、青者黃、黃者落、而聚者散、而逝者晝夜弗舍也、則登此樓者、觀變乎前、感生乎内、亦足以見世間富貴功名榮耀之不可常恃、而種々幻妄之惑、可以辨矣、惑辨而德崇、是孔門相誨之旨、而所謂立誠之學、其或在斯乎、此樓之所以為不可廢也

頭注 丁未、弘化四年、先生三十五歳、盖先生、自天保十四年六月、至弘化四年五月、寓於八鹿、

読み

訳

語句